

風

仲間の心に温かい
風を吹かせよう！

3学年だより

～秋風～

国見町立
県北中学校

R 3.10.15(金)
第24号

いよいよ本番です！

10月17日(日)、柏葉祭本番です。

今まで、各クラスとも試行錯誤しながら自分たちの合唱を創り上げてきました。ワクチン接種の副反応との闘い、気温差からくる体調不良との闘いなど様々な壁を乗り越え、仕上げてきました。クラスの色が出る、素敵な歌声が聴けることでしょう！「歌っていて気持ちよかったです！」と言えるよう、本番は思い切って歌い、ハーモニーを楽しんでください。

さらには、各係の仕事もリーダーシップを発揮し、充実感溢れる、そして1人1人の心に残る柏葉祭にしていきたいと思います。

第3学年主任 今村恵美子

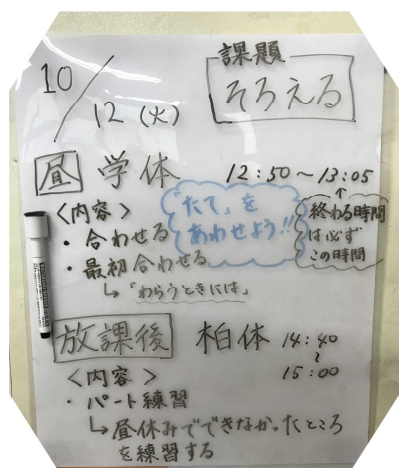


～1組の
掲示～

～2組の
掲示～



～3組の掲示～



防災教育、伝承館訪問 行ってきました。

10月8日(金)、晴天の中全校生徒でとみおかアーカイブ・双葉町伝承館を見学してきました。10年前のあの日、3月11日に何が起きていたのか、同じ福島に住んでいても、わからないことがありました。時は過ぎても未だあのままだになっている場所。何を感じ、思い、考えたのでしょうか！



【3の1 仲野愛瑠さん】

一番印象に残ったのは、命がけてたくさんの人を守った警察官です。津波が来ているにもかかわらず、自分の命より優先に町民の命を守った警察官のパトカーを見た時、とても胸が痛くなりました。自分だったらできるだろうか・・・と深く考えさせられました。

自然災害は、いつ起きるかわかりません。自然災害に備えたり、しっかり自分のすべきことを確認しておきたいです。

【3の2 岩淵心音さん】

今まで「見たくない過去」としていて、知ろうとしなかったことを反省しました。あの日のことを思い出して辛くなったけど、きちんと知ることができてよかったです。「富岡は負けん！」という言葉に感動しました。たくさんの人々のお陰で、今生活できているんだなと思いました。また、実際の様子を自分の目で見たら、「悲しい」のひとつでは言えない複雑な気持ちになりました。福島県民だったら絶対に知らなきゃいけないことなので、語り継いでいこうと思いました。あの日、私たちのために頑張ってくれた方々に感謝し、亡くなった方の分まで強く生きていきたいです。

【3の3 齋藤脩眞くん】

私が一番印象に残ったのは、東日本大震災伝承館や途中の高速道路から見た景色、光景でした。2011年から10年経った震災を受けたところでは、未だに自分の家にも戻れず、対策の堤防工事が進められている光景を見て、涙がこぼれそうになりました。伝承館の展望台から見たあの景色はいろんな意味で絶対忘れてはいけない光景でした。

10年経った今の状況を分かっていない人が多いと感じました。自分も10年経てば、復旧工事は終わり、元の生活が取り戻せていると思っていました。しかし、実際には工事も終わっていないし、人が住むことができないとても悲惨な現実でした。この現実を受けとめ、これからの未来に向けて、少しでも福島、そして日本の「復興」が大切だと思いました。

進路情報



☆ 10月23日(土)

聖光学院・福島東稜高校オープンスクール

☆ 10月23日(土)


漢字検定

～「第2回生活に関するアンケート」協力
のお願い～

生徒が抱える悩みやいじめに関する早期発見・早期解決に努めるために、次年度に向けた校則の見直しについて検討するために行います。

10月15日(金)に配付します。家庭に持ち帰って記入し、**10月19日(火)の朝**、担任の先生に手渡しでの提出になります。

◆ 今週の予定 ◆

10月18日(月)			
振替休業日			

10月19日(火)			
朝自習：社会⑩			
1	火	2	完全下校 13:05 SC来校
2	火	3	
3	火	4	
4	火	5	
短縮時程	給食	簡単清掃	

10月20日(水)			
朝自習：数学⑪			
1	水	1	完全下校 15:20 
2	水	2	
3	水	3	
4	水	4	
5	水	5	
6	道徳		
短縮時程	給食	簡単清掃	

10月21日(木)			
朝自習：英語⑫			
1	木	1	SSW来校 
2	木	2	
3	木	3	
4	木	4	
5	総合		
6	総合		後期学級役員組織
普通時程	給食	普通清掃	下校目安16:20

10月22日(金)			
朝自習：理科⑬			
1	金	1	後期生徒会専門委員会 (放課後)
2	金	2	
3	金	3	
4	金	4	
5	学活		期末テスト計画表作成
普通時程	給食	普通清掃	完全下校18:15

鍵山秀三郎 の名言 (イエローハットの創設者)

小さなことに感動できる人、
 小さなことに喜べる人、
 感謝できる人ほど幸せだと思います。
 感謝こそ人生を潤す花だと思ふのです。

